



AT-LP2022

ベルトドライブターンテーブル

取扱説明書

はじめに

本製品は、販売国でのみ使用できます。本製品の電圧、ACアダプターのプラグがお住まいの国に適合していることをご確認ください。

個装箱について

本製品の梱包材には、一点一点手作業で制作した手漉き和紙を採用しています。天然原料を使用しているため、非常に繊細です。カビや変色を防ぐため、高温多湿を避け、風通しの良い場所で保管してください。

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本製品について

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 付属のACアダプター以外使用しない 電流容量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。● 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、ACアダプターから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。● 火気に近づけない／火の付いたキャンドルなどを上に置かない 火災の原因になります。● 分解や改造はしない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。● 強い衝撃を与えない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。● 濡れた手で触れない 感電によるけがの恐れがあります。● 水をかけない／水滴や水しぶぎのかかる場所に置かない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。● 本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。● じゅうたんや布などで覆わない 過熱による火災など事故の原因になります。● 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない 事故や火災の原因になります。
 注意	<ul style="list-style-type: none">● 不安定な場所に置かない 本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。● 換気の良い場所に置く 本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の周りに隙間を空けてください。● 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 また、変色や変形、故障、不具合の原因になります。● 本製品の上に物（花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など）を置かない 万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。● アルコール、ベンジン、シンナー、接点復活保護剤など薬品は使用しない 変色や変形、故障の原因になります。

ACアダプターについて

⚠ 警告

- **表示している電源電圧以外で使用しない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **本製品以外には使用しない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない**
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
断線、故障の原因になります。
- **コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
断線、故障の原因になります。
- **分解や改造はしない**
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
感電によるけがの恐れがあります。
- **布などで覆わない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない**
変形、故障の原因になります。

⚠ 注意

- **長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
省エネルギーにご配慮ください。
- **足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない**
故障や事故の原因になります。
- **通電中のACアダプターに長時間触れない**
低温やけどの原因になることがあります。

使用上の注意

ターンテーブル本体について

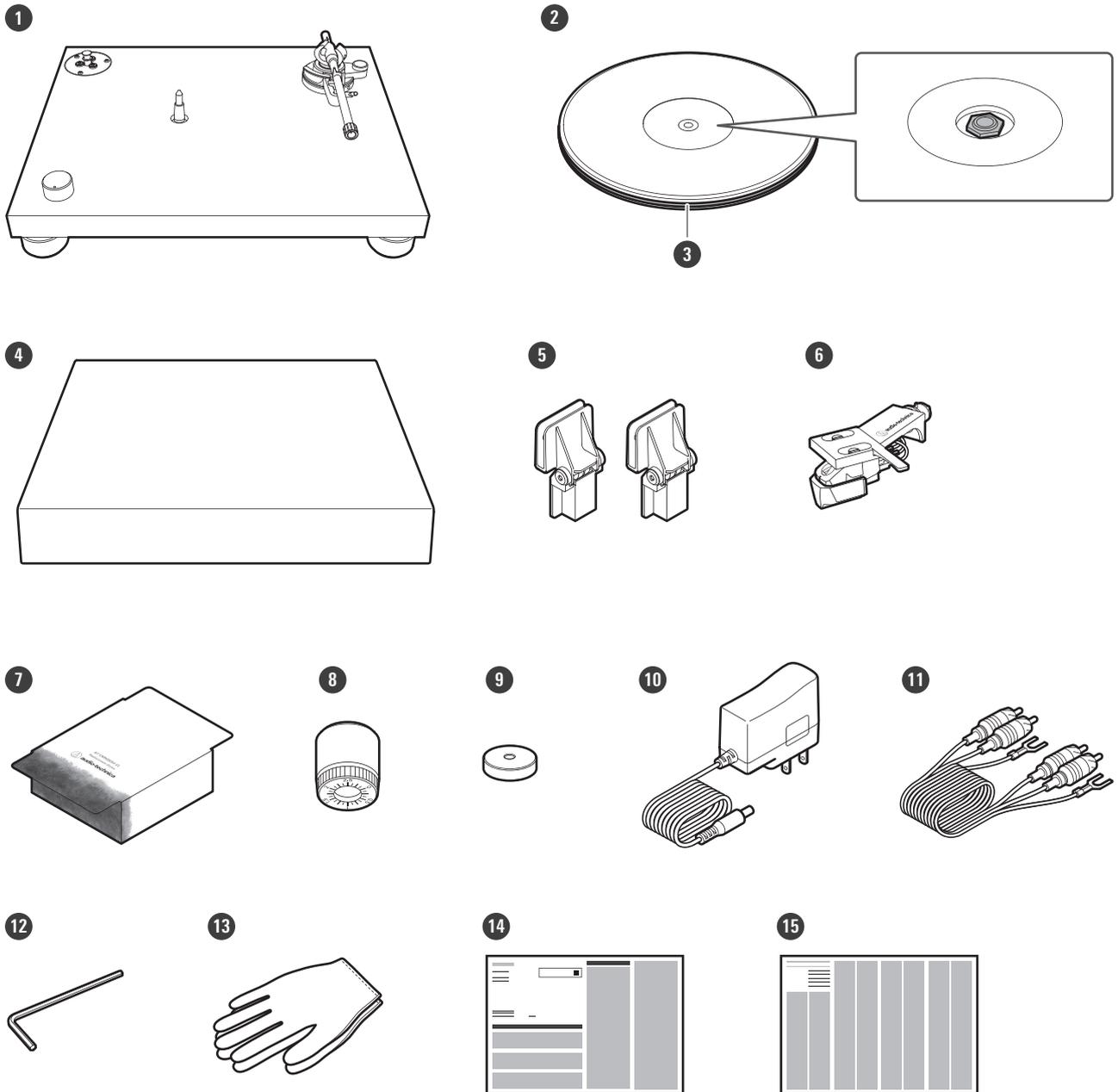
- 温度や湿度の高い場所、ほこりの多い場所、大きな振動がある場所には本製品を設置したり使用しないでください。
- 本製品は、傾きのない水平な場所に置いてください。
- ダストカバーを閉じる際は、完全に閉じてください。

カートリッジについて

- 本製品を使用しないときは、付属のプロテクターをカートリッジに取り付けてください。
- カートリッジの針に指で触れないでください。
- カートリッジの針をプラッターやレコードの縁部にぶつけないでください。

同梱品の確認

- 本製品をご使用になる前に、同梱品がすべてそろっていることを確認してください。
- 万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までご連絡ください。
- ご購入後、保管、移動、輸送する場合に備え、すべての梱包材を保管しておくことをおすすめします。



① ターンテーブル本体

② ドライブベルト付きプラッター

保護シートを剥がしてから使用してください。

六角ナットが見える側（図参照）がプラッターの裏側です。取り付けの際、表裏にご注意ください。

③ ドライブベルト

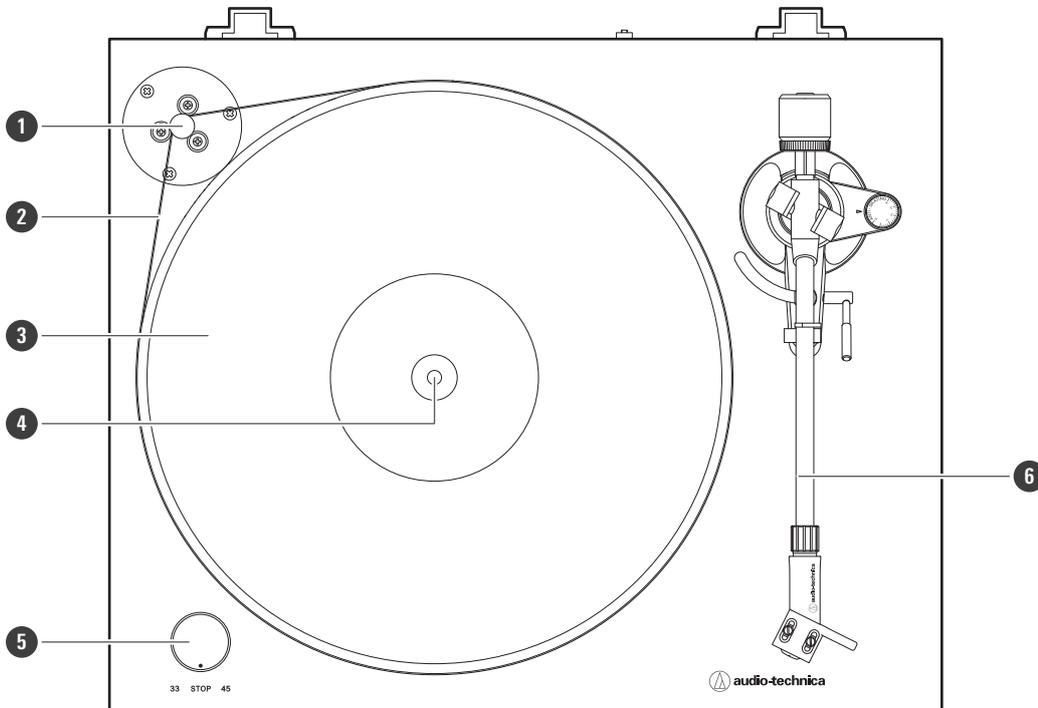
④ ダストカバー

同梱品の確認

- ⑤ ダストカバーヒンジ
- ⑥ VM型ステレオカートリッジ (AT-VM95E BK) 付きヘッドシェル (AT-HS4 SV)
- ⑦ 交換針 (AT-VMN95SH CL)
- ⑧ カウンターウエイト
- ⑨ EPアダプター
- ⑩ ACアダプター (約1.5m)
- ⑪ オーディオケーブル (約1.0m)
- ⑫ 六角レンチ (トーンアーム高さ調整用)
- ⑬ 手袋
- ⑭ クイックスタートガイド
- ⑮ 取扱注意ガイド

各部の名称と機能

天面



① モータープーリー

② ドライブベルト

③ プラッター

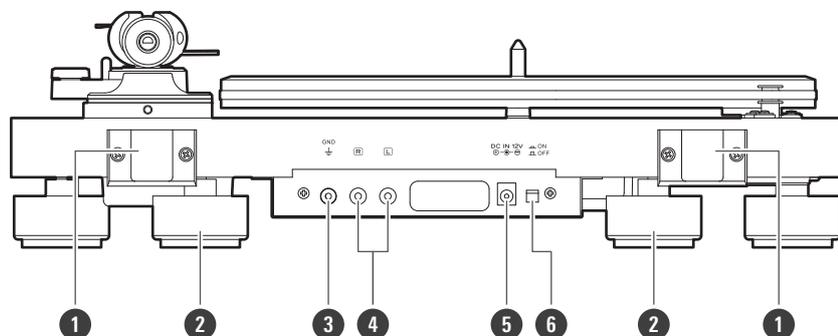
④ スピンドル

⑤ コントロールノブ

プラッターの回転数（33-1/3回転/分または45回転/分）の選択や始動/停止に使用します。

⑥ トーンアーム

背面



1 ヒンジホルダー

ダストカバーのヒンジを取り付けます。

2 脚部

本製品の水平調整をします。

3 グランド（アース）端子

アンプのグランド（アース）端子とこの端子を、オーディオケーブルのアース線で接続します。

4 ステレオ出力端子

オーディオケーブルを接続します。アンプのPHONO入力端子に接続してください。赤色端子が右チャンネル、白色端子が左チャンネルです。

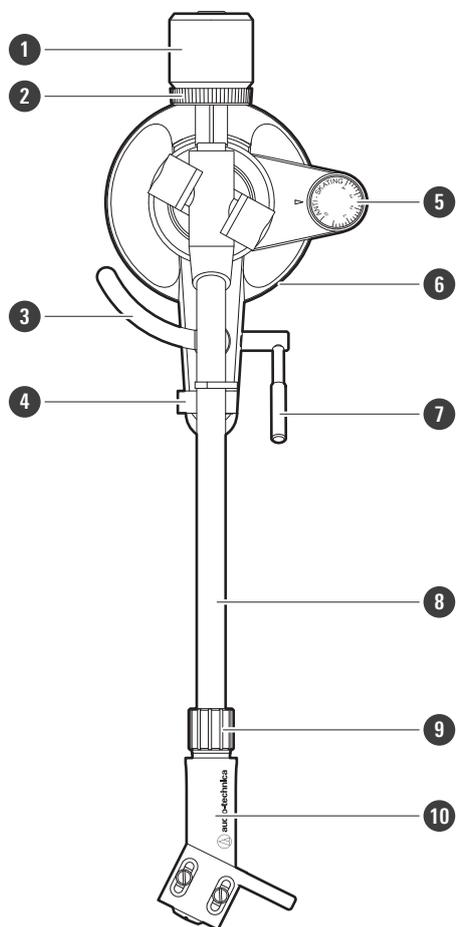
5 電源入力端子

ACアダプターを接続します。

6 電源スイッチ

電源をON/OFFします。

トーンアーム



1 カウンターウエイト

トーンアームのバランスを取り、適切な針圧に調整します。

2 針圧調整リング

針圧を調整する際に使用します。

3 アームリフター

トーンアームをレコード盤面から上下させます。

4 クランプ付きアームレスト

トーンアームが動かないようにクランプを使用して、固定することができます。

5 アンチスキッピング調整ダイヤル

レコードの再生中、針先が内側へ引っ張られる力が発生します。アンチスキッピングの値を針圧値と同じに設定することで、その力に抵抗します。

6 トーンアーム高さ調整用ねじ穴

7 リフターレバー

アームリフターを操作します。

8 トーンアーム

各部の名称と機能

9 ロックナット

リング部を反時計方向（左）に回すと、ヘッドシェルが固定されます。ヘッドシェルを取り外すには、リング部を右に回転させます。

10 ヘッドシェルとカートリッジ

ヘッドシェルに、カートリッジが付いています。

使用前の準備

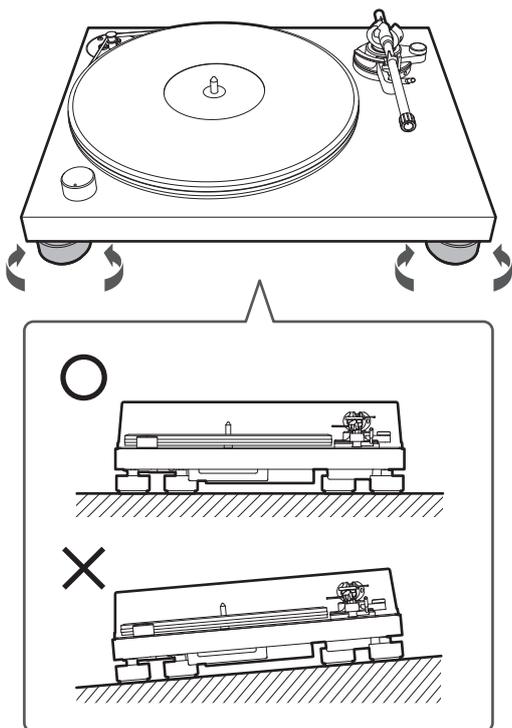
設置する

- 本製品を設置するときは、水平な場所に設置してください。
- 音圧や振動の影響を避けるため、スピーカーなどから離して設置してください。
- ラジオなどを本製品に近づけると、ラジオに雑音が入る場合があります。できるだけ本製品から離してください。
- 本製品の近くに強い電波を発生させる機器（携帯電話など）があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本製品に指紋などが付かないよう付属の手袋を使用してください。

水平調整をする

使用する場所に設置したあと、本製品が水平になるように脚部を調整します。

- 必要に応じて水準器（別売）を使用し、水平調整を行ってください。



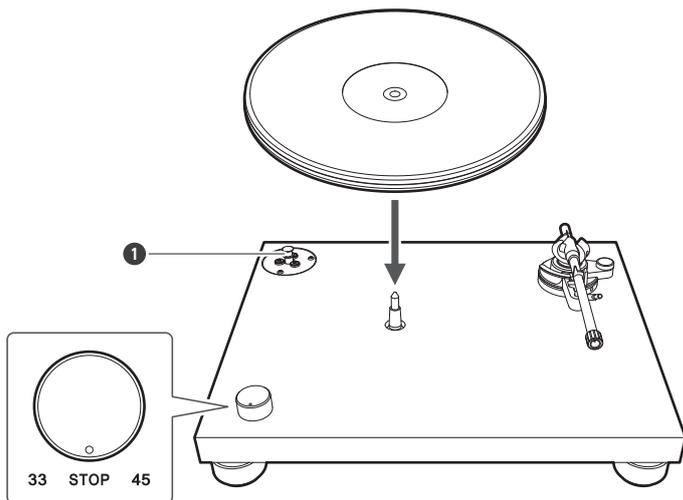
プラッターを取り付ける

本製品は、初めてご使用になる前に組み立て作業が必要です。組み立てが終わるまではACアダプターを接続しないでください。

使用前の準備

1 電源をOFFにした状態で、プラッターをスピンドルに取り付けます。

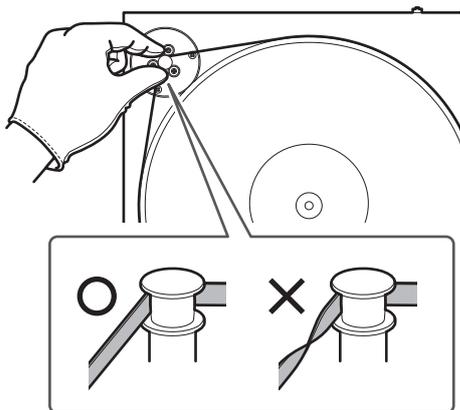
- コントロールノブが「STOP」位置にあることを確認してください。
- プラッターの表裏を間違わないようにしてください。六角ナットが見える側が裏側になります。
- スピンドルの破損を防ぐため、プラッターを取り付けるときは、プラッターの穴とスピンドルの位置を合わせてゆっくと取り付けてください。
- プラッターがスピンドルに確実に装着されたことを確認します。



① モータープーリー

2 モータープーリーにベルトを取り付けます。

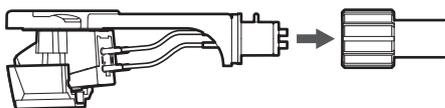
- ベルトがねじれないように注意してください。
- ベルトはプラッターの側面にあらかじめ取り付けられています。外れている場合は、プラッターの側面に取り付けたあと、モータープーリーに取り付けてください。



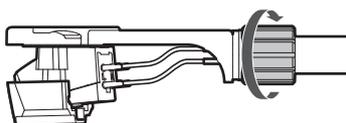
トーンアームをセットアップする

- 1 工場出荷時の、トーンアーム固定用結束バンドを取り外します。
 - トーンアームをアームレストに一時的に固定するにはクランプを使用します。

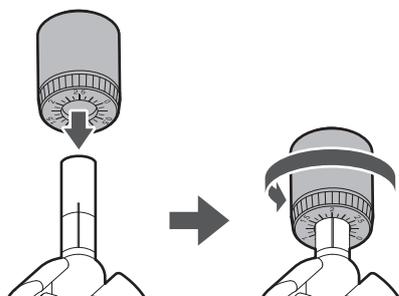
- 2 ヘッドシェルをトーンアームに差し込みます。
 - 針を傷めたりカートリッジの配線を切らないように、ヘッドシェルの左右の縁部を持ってください。



- 3 ヘッドシェルを差し込んだまま、ロックナットを反時計方向（左）に回します。



- 4 トーンアームの後部にカウンターウェイトを取り付けて反時計方向（左）にゆっくり回します。



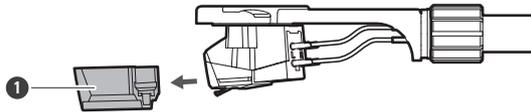
トーンアームの水平バランスと針圧の調整について

カートリッジがレコードの溝から正確に音を拾うために、カートリッジの仕様に合わせて、トーンアームの水平バランスと針圧を調整する必要があります。トーンアームの水平バランスと針圧調整が不十分だと、カートリッジの針やレコードを傷める恐れがあります。

- 水平バランスと針圧の調整を行っているとき、プラッターやレコードの上でカートリッジの針を引きずらないでください。針が破損する恐れがあります。

水平バランスを調整する

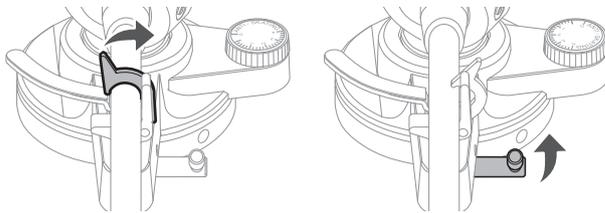
- 1** カートリッジのプロテクターを取り外します。



① プロテクター

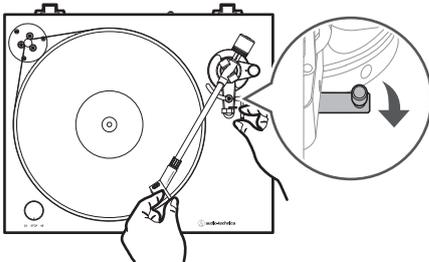
- 2** クランプを取り外し、リフターレバーを上げます。

- トーンアームは、まだバランス調整されておらず、傾く状態です。



- 3** プラッターの上にトーンアームを移動します。ヘッドシェルを持ったまま、リフターレバーを下げます。

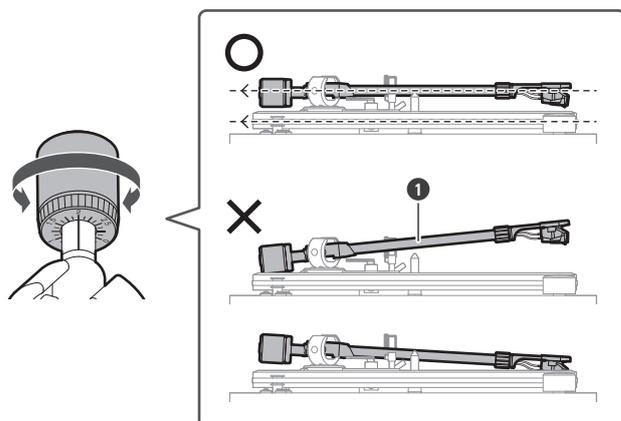
- 針先がプラッターに触れないようにしてください。



- 4** ヘッドシェルを軽く持ったままカウンターウェイトを回してトーンアームの水平バランスを調整します。

- 手を離れたときにトーンアームが水平になるように調整してください。

使用前の準備



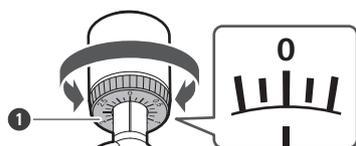
① トーンアーム

- 5 トーンアームをアームレストに戻します。

針圧を調整する

- 1 カウンターウェイトが動かないように押さえながら、針圧調整リングの「0」の位置がトーンアーム後部のセンターラインと重なるように回します。

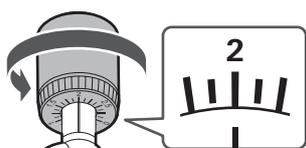
- 針圧調整リングを回しても針圧は調整されません。



① 針圧調整リング

- 2 カウンターウェイトと針圧調整リングを反時計方向（左）に回して、ご使用のカートリッジの推奨針圧値に合わせます。

- 推奨針圧値については、カートリッジメーカーの仕様を参照してください。
- 本製品付属のカートリッジの針圧値は2.0gです。

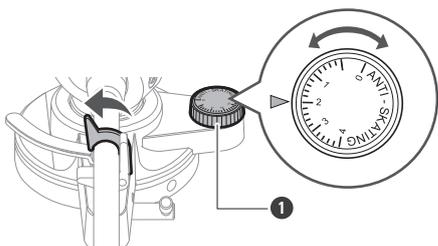


アンチスケーティングを調整する

レコードの再生中、針先が内側へ引っ張られる力が発生します。アンチスケーティングの値を針圧値と同じに設定することで、その力に抵抗します。

1 アンチスケーティング調整ダイヤルを針圧値と同じ値に調整します。

- 本製品付属のカートリッジの針圧値は2.0gです。

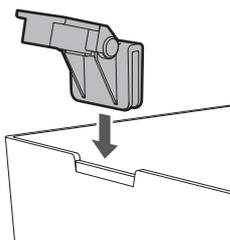


① アンチスケーティング調整ダイヤル

ダストカバーを取り付ける

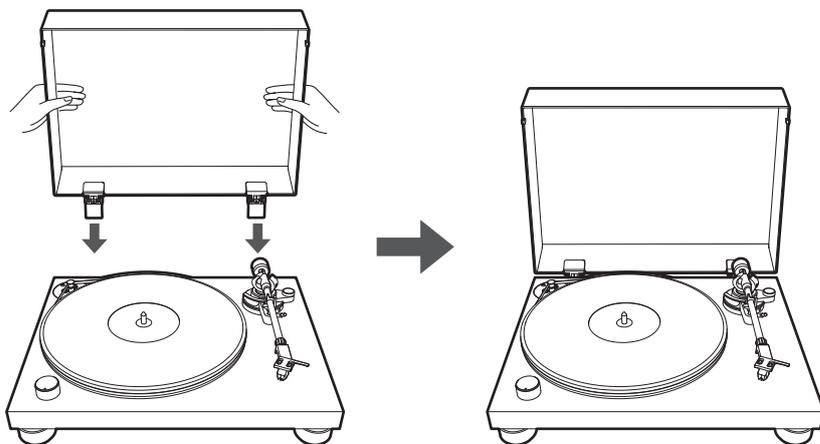
ダストカバーは本製品を使用しない際に、本製品の繊細な部分を保護するためのものです。

1 ダストカバーのくぼみにダストカバーヒンジを取り付けます。



2 ダストカバーのヒンジ部分を本体背面の2つのヒンジホルダーに差し込みます。

使用前の準備



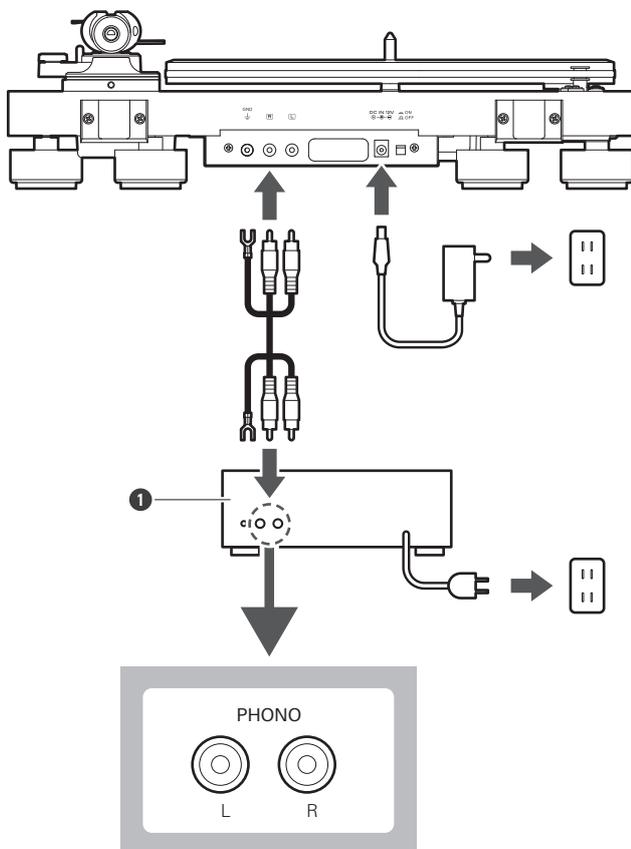
- ダストカバーを取り外す際は、本体のヒンジホルダーからダストカバーをゆっくり抜きます。
- レコードを再生する際はダストカバーを開けておく、または取り外してください。

使用する

本製品は、フォノイコライザー機能を内蔵していません。フォノイコライザーまたは、フォノイコライザーを内蔵したアンプのPHONO入力端子にオーディオケーブルを接続して使用してください。

フォノイコライザー／フォノイコライザー内蔵アンプと接続する

- オーディオケーブルの赤色端子が右（R）チャンネル、白色端子が左（L）チャンネルです。



① フォノイコライザー／フォノイコライザー内蔵アンプ



- ご使用の接続機器によっては、PHONO入力端子の近くにグラウンド（アース）端子が搭載されている場合があります。その場合は、オーディオケーブルのアース線で接続します。レコード再生時のノイズ（ブーンという低い雑音のハム音）が少なくなることがあります。

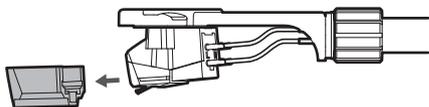
再生の前に

1 ACアダプターをコンセントに差し込みます。

- 安全のため、リフターレバーを持ち上げて、トーンアームをあげておいてください。
- 電源スイッチがOFFになっていて、コントロールノブが「STOP」位置にあることを確認してください。ACアダプターが接続された状態で電源スイッチがONになっていると、使用していないときも待機電流が流れています。

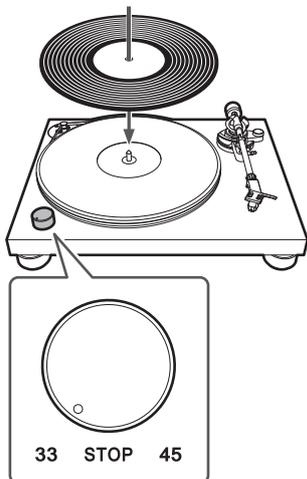
2 カートリッジのプロテクターを取り外します。

- まっすぐ手前に引き抜いてください。
- トーンアームがアームレストに固定されている場合は、クランプを取り外します。



3 レコードを、中心の穴がスピンドルに合うようにプラッターの上に乗せます。

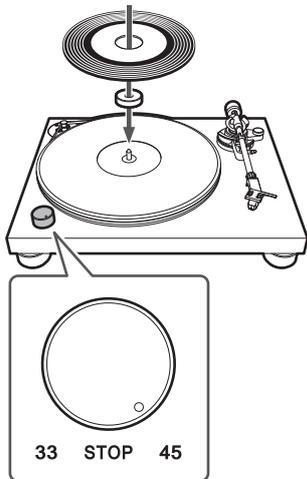
33-1/3回転時



45回転時

EPレコードの場合は、EPアダプターを取り付けてください。

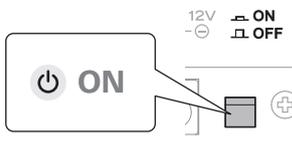
使用する



再生のしかた

アンプやアクティブスピーカーなどの音量を充分小さくしておいてください。

- 1 電源スイッチをONにします。



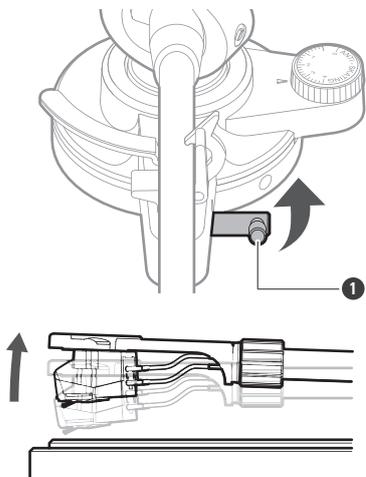
- 2 コントロールノブで回転数を選択します。

- 33-1/3 回転レコードの場合は「33」、45 回転レコードの場合は「45」を選択してください。

≫ プラッターが回転し始めます。

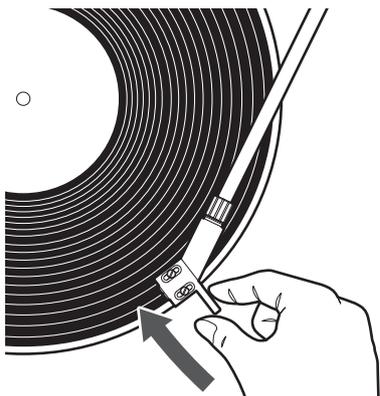
- 3 リフターレバーを持ち上げ、トーンアームを上げます。

使用する



① リフターレバー

4 レコードの聴きたい位置（溝）の上にトーンアームを移動させます。



5 リフターレバーを下げ、トーンアームを降ろします。

- 上記の手順3~4を飛ばし、ヘッドシェルを指で持ち上げて、トーンアームをレコードの聴きたい位置に移動させ、降ろして再生を開始することもできます。
- 再生中は本製品に衝撃などを与えないでください。

≫ トーンアームがレコード盤面までゆっくり降り、再生が開始されます。

再生を中断する

1 アンプなどの音量を充分小さくしたあと、リフターレバーでトーンアームを上げます。

停止する

- 1 アンプなどの音量を充分小さくします。
- 2 リフターレバーを上げます。
- 3 トーンアームを元の位置に戻し、クランプで固定します。
- 4 コントロールノブを「STOP」位置に回します。
 - プラッターが制動され、回転が停止します。
- 5 プラッターが完全に停止したあと、レコードを取り外します。
- 6 プロテクターを取り付けます。



- プラッターが汚れているとレコードに傷が付きやすくなりますので、定期的にプラッターを取り外して、ほこりなどを払ってください。
- 使用後は、レコードの傷付きや反りを防止するため、レコードを取り外してください。
- ディスクスタビライザーは使用しないでください。
- 付属品以外のプラッターは使用しないでください。
- 本製品はDJ用ではありません。再生中のレコードやプラッターには触れないでください。

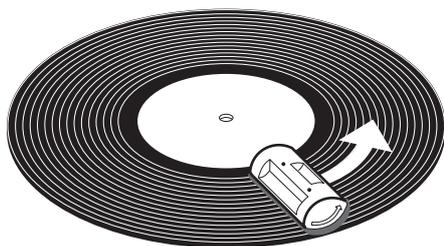
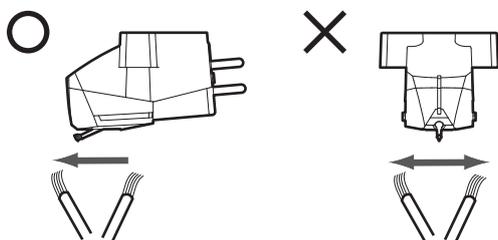
お手入れ

本体のお手入れ

- 汚れたときやほこりが付いたときは電源スイッチをOFFにしたあと、ACアダプターを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- プラッターが汚れているとレコードに傷が付きやすくなりますので、定期的にプラッターを取り外して、ほこりなどを払ってください。
- 長い間保存するときには、電源スイッチをOFFにしたあと、ACアダプターをコンセントから抜き、機器をビニールなどで包み、湿気を帯びないようにしてください。

カートリッジの針先／レコードのお手入れ

- 針先にごみや汚れが付着した場合は、必要に応じてお手入れを行ってください。お手入れの際は、コントロールノブを「STOP」位置に回し、電源スイッチをOFFにしたあと、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 汚れがひどい場合は、スタイラスクリーナー（当社別売）をおすすめします。根元から針先へ向かってブラシを動かしてクリーニングしてください。
- レコードクリーナー、スタイラスクリーナー（当社別売）について詳しくは、当社ホームページ（<https://www.audio-technica.co.jp/>）をご確認ください。



針交換のしかた

本製品には交換針（AT-VMN95SH CL）が同梱されています。より良い音でレコードを聴くために、この交換針をご使用いただくことをおすすめします。

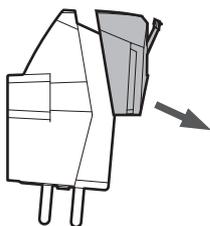
交換針の取り外しかた

- カートリッジの針先が磨耗すると音質が悪くなるばかりでなく、レコードを傷める原因になります。
- 再生時間は300時間を目安に交換してください。
- 必ず電源スイッチをOFFにしたあと、本製品のACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 針交換を行う場合は、ヘッドシェルとカートリッジ本体をしっかりと持ちください。

1 ヘッドシェルをトーンアームから取り外します。

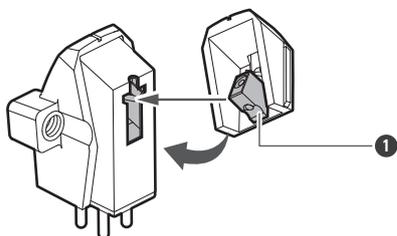
- クランプを使用してトーンアームを固定しておき、ゆっくりとヘッドシェルを取り外してください。

2 カートリッジのプロテクターを取り外したあと、カンチレバー、針先やマグネットに触れないように交換針を矢印の方向に引っ張って、取り外します。



新しい交換針の取り付けかた

1 新しい交換針をカートリッジに取り付けます。



- ① 内側の突起の位置を合わせる

2 ヘッドシェルをトーンアームに取り付けます。

カートリッジ交換のしかた

- 市販のカートリッジに交換する場合、使用するカートリッジの取扱説明書を参照して交換してください。
- 新しいカートリッジに交換したあと、水平バランスや針圧、オーバーハングなどの調整を再度行う必要があります。

1 ヘッドシェルをトーンアームから取り外します。

- クランプを使用してトーンアームを固定し、ゆっくりとヘッドシェルを取り外してください。

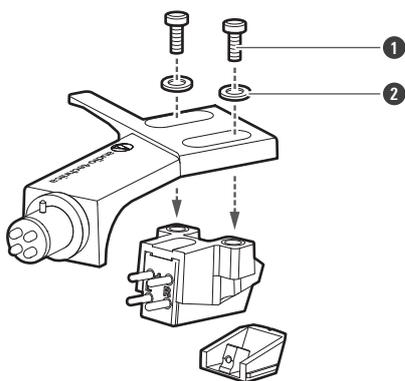
2 カートリッジから交換針を取り外します。

3 リードチップを取り外します。

- リード線が切れないように注意してください。

4 取り付けビスを市販の非磁性マイナスドライバーなどで取り外して、カートリッジをヘッドシェルから取り外します。

5 新しいカートリッジの取扱説明書を参照し、カートリッジをヘッドシェルに取り付け、リードチップを接続します。



- ① 取り付けビス
- ② プラスチックワッシャー

6 2箇所のビスを市販の非磁性マイナスドライバーなどで緩めて、オーバーハングの調整をします。

- 「オーバーハングの調整」(p.29)を参照してください。
- 調整終了後はビスを確実に締めてください。

7 トーンアームに取り付けます。

8 水平バランスや針圧の調整を行います。

- 「水平バランスを調整する」(p.15)と「針圧を調整する」(p.16)を参照して調整してください。

ベルト交換のしかた

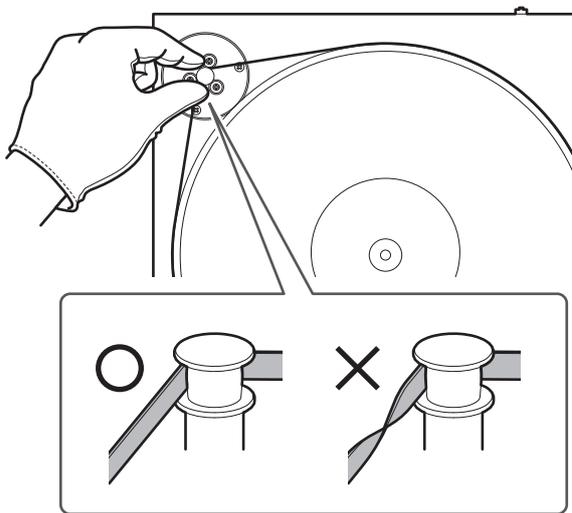
- ベルトは消耗品です。再生速度が遅くなったり、回転ムラが発生した場合は、ベルトを交換してください。1年を目安に交換することをおすすめします。
- ベルト交換を行う前に、必ず電源スイッチをOFFにしたあと、本製品のACアダプターをコンセントから抜いてください。

1 ベルトをモータープーリーから取り外し、古いベルトを取り外します。

2 新しいベルトをプラッターの側面に取り付けます。

3 モータープーリーにベルトを取り付けます。

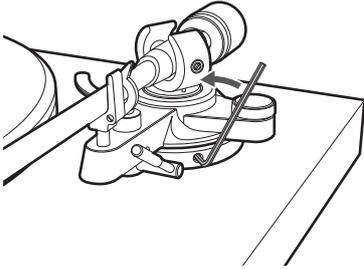
- ベルトがねじれないように注意してください。



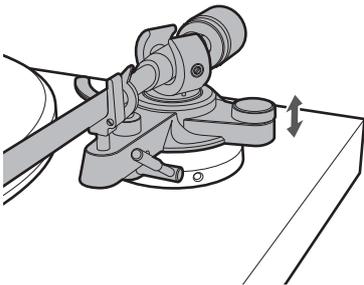
トーンアームの高さ調整

付属のカートリッジ以外を取り付ける場合は、カートリッジとレコードの間に適切な距離をとる必要があります。推奨針圧値に調整したカートリッジの針先をレコードに当て、トーンアームがレコード盤面と平行になっていることを確認してください。平行でない場合は、トーンアームの高さを調整してください。

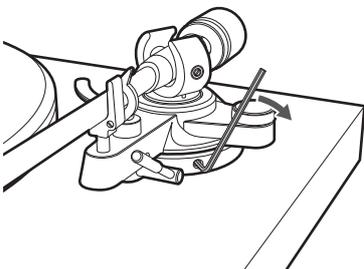
- 1 付属の六角レンチをトーンアーム高さ調整用ねじ穴に差し込み、反時計回りに回してロックを解除します。



- 2 トーンアームを手動で上げ下げして、高さを調整します。



- 3 付属の六角レンチをトーンアーム高さ調整用ねじ穴に再度差し込み、反時計回りに回してロックを固定します。



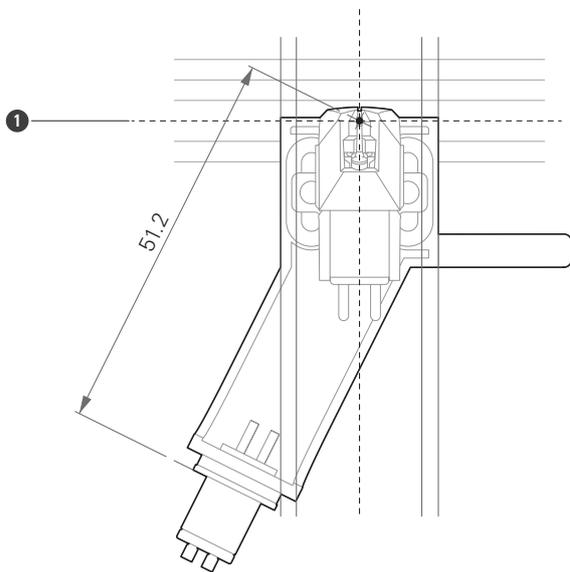
- 4 プラッターの上にレコードを置き、トーンアームをレコードの上に置きます。カートリッジの針先をレコード盤面に降ろし、トーンアームとレコード盤面が水平であることを確認します。

オーバーハングの調整

- 付属品以外のカートリッジやヘッドシェルを取り付ける際、カートリッジの取り付け位置を正確に決める必要があります（オーバーハングの調整）。
- PDF版の本ページをプリンターで等倍印刷してご使用ください。HTML版を印刷しても実寸ではありませんのでご注意ください。

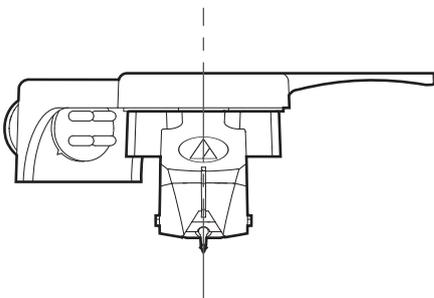
1 カートリッジをヘッドシェルに対して平行になるように取り付けます。

- 図のオーバーハング調整ガイドにカートリッジとヘッドシェルの位置を合わせて、平行になるように取り付けてください。
- 本イラストは実寸で表示されています（PDF版のみ）。
- 図にヘッドシェルを置いて、「カートリッジの針先」のラインに新しいカートリッジの針先が合うように調整してください。



① カートリッジの針先

2 カートリッジをヘッドシェルに対して垂直になるように取り付けます。



本製品を移動するときは

ご購入時の梱包材を使用して、開梱のときと逆の方法で梱包してください。梱包材がない場合は、次の対応を行ってください。

- 電源スイッチをOFFにしたあと、ACアダプターをコンセントから抜き、プラッターを取り外し、傷が付かないように梱包してください。プラッターを取り付けたまま本製品を移動すると、スピンドルが破損するおそれがあります。
- トーンアームを、アームレストのクランプを使用して固定してください。
- カウンターウエイトを取り外します。
- カートリッジのプロテクターを取り付けた状態でヘッドシェルをトーンアームから取り外し、傷が付かないように梱包してください。
- ターンテーブル本体は、柔らかい布や紙などで傷が付かないように梱包してください。

故障かな？と思ったら

① プラッターが回転しない

- ACアダプターがコンセントから外れていませんか。ACアダプターをコンセントに差し込んでください。
- ベルトがプラッターから外れていませんか。ベルトをプラッターに正しく取り付けてください。
- ベルトがモータープーリーにかけられていますか。ベルトがモータープーリーに正しくかけられているか確認してください。
- ベルトが切れていませんか。ベルトを新品に交換してください。

② プラッターは回るが、音が出ない、または音量が小さい

- カートリッジのプロテクターを取り付けたままになっていませんか。カートリッジのプロテクターを取り外してください。
- トーンアームを上げた状態になっていませんか。トーンアームを降ろしてください。
- アンプなど接続機器の機能設定や入力を選択が間違っていないですか。接続機器の設定が適切か確認してください。
- 針が損傷していませんか。針を確認し、交換してください。
- 針がカートリッジ本体に正しく装着されていますか。カートリッジを確認し、調整してください。
- 針圧が大きすぎませんか。針圧を調整してください。

③ 針とびを起こす

- 針圧が小さすぎる、または大きすぎませんか。針圧を調整してください。
- アンチスキッピングの調整が不十分ではありませんか。アンチスキッピングがカートリッジの針圧と同じ値に設定されているか確認してください。
- レコードが反っていませんか。レコードを確認してください。
- レコードに傷が付いていませんか。レコードを確認してください。
- 針が汚れていませんか。ほこりなどが多く溜まっていると、レコードの再生に影響があります。

④ ハウリングが生じる

- 本製品が、床、壁面、または近くのスピーカーから過度に振動を拾っていませんか。振動を小さくするか、振動の影響を受けない場所に本製品を置いてください。
- 本製品が不安定な場所に設置されていませんか。設置場所が適切か確認してください。

故障かな？と思ったら

① レコードの再生音にノイズが生じる

- カートリッジの針先にほこりが付いていませんか。付いている場合は、市販のブラシできれいにしてください。

② レコードの再生音が速すぎる、または遅すぎる

- 本製品の回転数の設定が間違っていないですか。コントロールノブで、再生するレコードの種類に合った正しい回転数を選択してください。

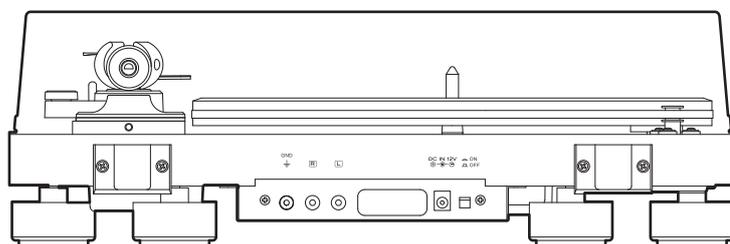
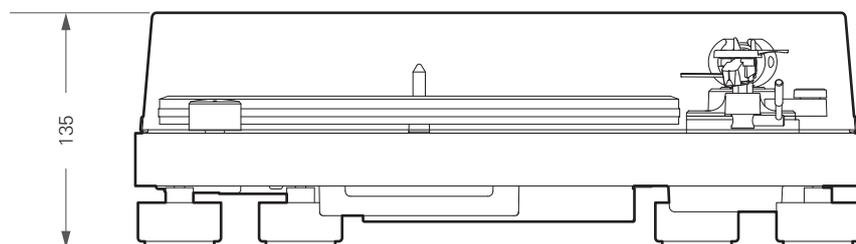
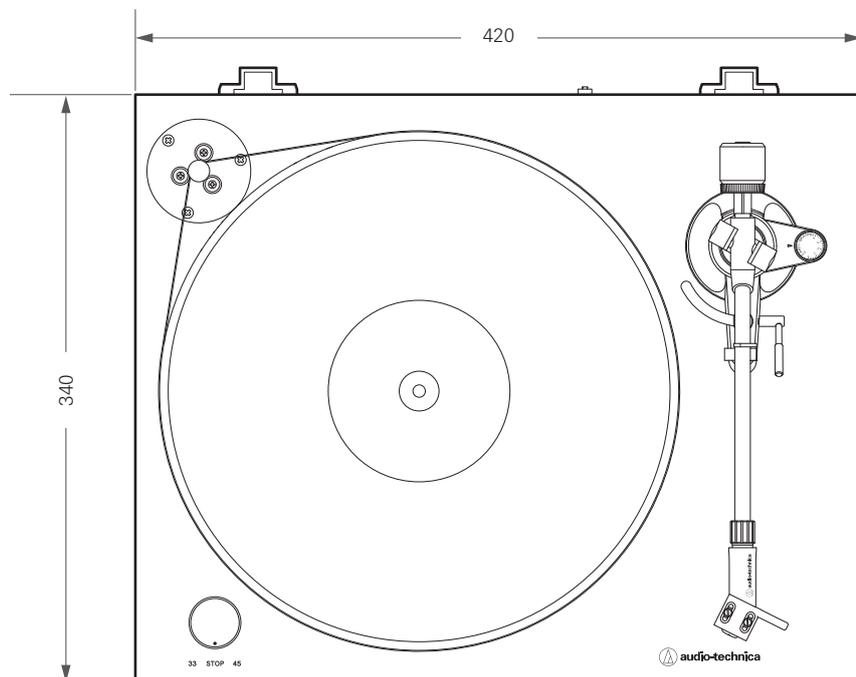
③ 再生速度が遅くなる、または回転ムラがある

- ベルトが伸びていませんか。ベルトを新品に交換してください。

④ 再生中にブーンというノイズが入る

- アース線が正しく接続されていますか。アース線を確認してください。
- ノイズが続く場合は、アース線を取り外してください。ノイズを減らすことができます。
- ヘッドシェルがトーンアームにしっかりと固定されていますか。ロックナットを確認してください。

外形寸法図



(単位:mm)

テクニカルデータ

ターンテーブル本体の仕様

型式	ベルトドライブマニュアルターンテーブル
駆動モーター	アクティブスピードコントロール付きDCサーボモーター
駆動方式	ベルトドライブ方式
回転数	33-1/3または45回転/分
ターンテーブルプッター	厚さ16mm、アクリル製プッター
ワウフラッター	<0.15% WRM (33回転時)
SN比	>60dB

トーンアームの仕様

種別	スタティックバランス式ストレート型カーボントーンアーム
有効長	223.6mm
オーバーハング	18.6mm
最大トラッキングエラー角	2.0°未満
針圧調整範囲	0~3.0g
使用可能なカートリッジ質量範囲 (ヘッドシェルを含む)	11.5~16.5g

カートリッジの仕様 (AT-VM95E BK)

カートリッジ種別	VM型ステレオカートリッジ
推奨負荷インピーダンス	47k Ω
再生周波数範囲	20~22,000Hz
出力電圧	4.0mV (1kHz、5cm/秒)
針先形状	0.3x0.7mil 接合楕円針
カンチレバー	アルミニウムパイプ
針圧の範囲	1.8~2.2g (標準値2.0g)
カートリッジ質量	6.1g

カートリッジの仕様 (AT-VM95SH CL)

付属のカートリッジに交換針 (AT-VM95SH CL) を取り付けた場合の仕様です。

テクニカルデータ

カートリッジ種別	VM型ステレオカートリッジ
推奨負荷インピーダンス	47k Ω
再生周波数範囲	20~25,000Hz
出力電圧	3.5mV (1kHz、5cm/秒)
針先形状	2.7×0.26mil無垢シバタ針
カンチレバー	アルミニウムパイプ
針圧の範囲	1.8~2.2g (標準値2.0g)
カートリッジ質量	6.1g

ヘッドシエルの仕様

ヘッドシエル型式	AT-HS4 SV
ヘッドシエル質量	8.5g (リード線含む) 7.7g (リード線除く)
ヘッドシエルオーバーハング調整範囲	±5mm

一般仕様

電源条件	100~240V、50/60Hz、0.5A Max.
消費電力	1.8W
ACアダプター	12V、1.0A
外形寸法	420mm×340mm×135mm (W×D×H)
質量	8.0kg
付属品	ダストカバー、プッター (ドライブベルト付き)、ダストカバーヒンジ、カウンターウェイト、VM型ステレオカートリッジ (AT-VM95E BK) 付きヘッドシエル (AT-HS4 SV)、交換針 (AT-VMN95SH CL)、EPアダプター、オーディオケーブル (約1.0m)、ACアダプター (約1.5m)、六角レンチ、手袋
交換針	AT-VMN95E BK、AT-VMN95SH CL ^[1]
交換ヘッドシエル	AT-HS4 SV
交換ベルト	AT-LP2022用ベルト

[1] 交換針 (AT-VMN95SH CL (クリアカラー)) はAT-LP2022の限定生産品です。修理パーツには限りがあります。修理パーツがなくなった場合は修理などのご要望に沿えないこともありますのでご了承ください。その場合は、市販の交換針 (AT-VMN95SH (ブラウンカラー)) をご使用いただくことができます。

- 改良などのため予告なく変更することがあります。

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

Audio-Technica Corporation

2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2022 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact: www.at-globalsupport.com